



世界の注目が  
豊田市に。

## フォーラムエイト・ラリージャパン2024

昨年11月21日～24日の4日間に渡り開催した「フォーラムエイト・ラリージャパン2024」。愛知県・岐阜県の会場や沿道には、54万を超える人が訪れました。

市内各地で繰り広げられたスリリングなラリー競技や、トークショー、グルメなど様々な催しを、子どもから大人まで多くの方が思い思いに楽しんでいました。



松平



藤岡



旭



稲武



色とりどりの  
美しい風景。

藤岡



足助



足助



下山



小原



稲武

## 紅葉シーズンに染まる山里の風景

ラリージャパン2024で盛り上がった11月。同じ頃、市内の山里は紅葉シーズンを迎え、多くの観光客や地元の人で賑わいました。各地ではラリージャパンと併

せて楽しむ来訪者の姿も見られ、地域で大切に育まれた美しい風景が、より多くの人々の目に映されました。2025年の秋もまた、鮮やかな景色が見られますように。



**今**年は巳年(みどし)。十二支の「巳」とは、蛇を指します。蛇と聞くと、怖いイメージがあったり、苦手を感じたりする人も少なくないですが、その一方で、縁起の良い動物とも言われています。蛇は、田畑を荒らすネズミを捕食することや、餌を食べなくても生きながらえることなどから、古くから豊穡の神などとして信仰の対象にされてきました。

12年に一度めぐってくる巳年。過去の巳年には、どのようなことがあったのか振り返ってみましょう。

国内では、60年前の1965年(昭和40年)、「いざなぎ景気」が始まりました。その年を不況の底として、その後57か

月も続く景気拡大の局面が始まりました。48年前の1977年(昭和52年)、巨人(読売ジャイアンツ)の王貞治選手が東京・後楽園球場で、世界新記録の756本塁打を達成。36年前の1989年(平成元年)には、元号が「昭和」から「平成」に変わりました。

豊田市では、60年前の1965年(昭和40年)に碧海郡高岡町と合併し、36年前の1989年(平成元年)には「豊田まつり」が「豊田おいでんまつり」にリニューアルされました。

蛇は脱皮を繰り返す動物であることから、巳年は「変化や成長」「復活と再生」の年とされています。皆さんにとって、良い「変化」のある年になりますように。

**巳年生まれの市民 33,089人(男性17,147人、女性15,942人)**

※令和6年12月1日時点

大正6年生まれ	3人	昭和28年生まれ	4,524人	平成元年生まれ	4,816人
昭和4年生まれ	397人	昭和40年生まれ	5,342人	平成13年生まれ	4,976人
昭和16年生まれ	3,402人	昭和52年生まれ	5,750人	平成25年生まれ	3,879人

お  
お  
た  
市  
長  
ダイ  
ア  
リ  
ー

12月1日

**モリゾウ選手を  
わがまちアスリートに  
認定しました**

ラリー競技などにドライバーとして参戦し、その魅力や豊田市の美しい風景を国内外に向けて情報発信されているモリゾウ選手(トヨタ自動車(株)代表取締役会長豊田章男氏)を「豊田市わがまちアスリート」に認定しました。今後も、さらなる活躍を期待しています。



下写真/令和5年10月に畷部小学校の授業で水素エンジン車両やカーボンニュートラルについて講義しデモ走行するモリゾウ選手。